

テーマ：『（ぐるっとまるごと『校庭エコ・ミュージアム』計画）』

神奈川県 横浜市立

大岡小学校

Tel. 045-711-0818

担当者：

齋藤 美紀子



- 実践内容： 《自然環境》自然に親しみ、生命の大切さを感じるとともに、自然を大切にしようとする
- ・花壇、学年園における栽培活動の充実
 - ・大岡川の生き物飼育活動の充実
 - ・中庭の池の整備
 - ・なかよしグループ栽培活動の充実
 - ・メダカ池の整備
 - ・大岡の森（学校林）の整備
 - ・田んぼの整備
- 《生活環境》資源やエネルギーの有効性に気づき、有効に活用し、生活をよりよくしようとする
- ・教室ゴミ、古紙回収の充実
 - ・段ボール回収、段ボール置き場の整備
 - ・地域清掃、落ち葉清掃活動の充実
- 《学習環境》学習に必要な環境の整備や充実を図り、日々の活動をより活性化しようとする
- ・掲示板の整備（実行委員会・クラブ・なかよしグループ・地域ボランティア・情報マップ）
 - ・大岡气象台の充実
 - ・学習情報センターの整備
- 実践成果：
- 身近な自然に積極的にかかわり直接触れることで、自ら環境を守ろうと意欲をもって実践し、ともに学び合う子どもが育ちつつある。
 - 具体的には、生活科・理科を中心とした観察活動を行う際、観察のポイントが増えたことで、観察の視点が今までよりも豊かになった。
 - 情報マップの整備により、学区内の“とくだね情報”を全校で共有化することができるようになった。
- 実践ポイント： 校内の整備が始まったばかりだが、子どもたちが「大岡の森」の木の葉を触りながら形の違いを発見している姿や「メダカ池」のメダカを観察する輝いた目が見られた。こうした情報が「情報マップ」に順次掲載されてきている。やはり、子どもたちにとって魅力ある学習環境づくりを進めていくことが重要であると感じている。